

子育てしやすさ NO.1をめざして

1. はじめに

子育てに対する経済的・精神的な不安が高まるなか、少子化は極めて深刻な状況となっています。このような状況を受け、豊中市ではさらなる子育て環境の充実をめざして、令和5年9月に「子育てしやすさ NO.1」というプロジェクトを発表しました。このプロジェクトでは、5年間で 100 億円規模の集中的な投資を行います。地域の実情に合わせた子育て支援サービスをきめ細やかにを行うことで、子育て世代が「将来にわたってずっと住み続けたい」と思えるまちづくりを進めていきます。

2. 「子育てしやすさ NO.1」の事業内容

「子育ては親だけがするもの」という考えから脱却し、社会全体で子育てを支えていくという「子育ての社会化」をめざすことを基本理念としています。保護者が過度な使命感や負担感を抱くことなく子育てできるよう、子どもとその保護者を支援する施策を展開していきます。



3. 具体的な事業内容

①「小1の壁」を解消

保護者の多様な働き方に対応し、仕事も家庭も両立できる環境づくりを行います。また、ベビーシッターサービスや家事代行利用の支援、放課後こどもクラブでの送迎不要な習い事機能の内容拡大で保護者の時間的・精神的負担を軽減し、子どもと過ごす時間を充実させます。

①具体的な取組内容

- ・放課後こどもクラブの休日開設と預かり時間延長を実施
- ・放課後こどもクラブでできる習い事の開始
- ・朝7時からの小学校の校門開放
- ・ベビーシッターや家事代行サービスの利用を支援

②一人ひとりに個別最適な教育を提供

デジタル技術を活用し、学校・家庭・放課後の学習状況を一元的にマネジメントし、府内 NO.1の教育 DX を実現することで子どもたちの学力アップを図ります。家庭の状況に関わらず、すべての子どもが安心して学校教育活動に参加できるよう、修学旅行費や行事費、副教材費の無償化を行います。

②具体的な取組内容

- ・AIドリルなどのデジタル技術の活用で、子ども一人ひとりの学習状況に合わせた教育を実現
- ・放課後・土日の学習支援を拡充
- ・学びの多様化学校の設置
- ・修学旅行費や行事費、ドリルなどの副教材費を無償化

③子どもとその家庭を社会全体で守る

子育てに関する相談・保育サービスを気軽に利用できる環境を整え、子育て家庭が困りごとを抱え込むことなく子ども・子育てをまるごと支援する地域づくりを進めます。

③具体的な取組内容

- ・子どもの居場所をすべての小学校区に設置
- ・20時までの延長保育施設の拡充
- ・一時保育手続きのシステム化の拡充
- ・きょうだい同園入所の推進

4. その他詳細

上記に掲載した内容以外にも、豊中市では多くの取り組みを実施します。より詳細の内容や具体的な事業については市ホームページをご確認ください

URLはこちら→(https://www.city.toyonaka.osaka.jp/kosodate/kosodate_no1/index.html)



二次元コードはこちら→

5. 住み続けたいと思えるまちの実現に向けて

豊中市の「子育てしやすさ NO.1」プロジェクトはまだ始まったばかりです。私たちにできること、やらなくてはいけないことはまだまだ沢山あります。試行錯誤を重ねながらも、子どもから大人まで、全世代にとって住み続けたいと思えるまちの実現に向けて、全庁を挙げて「子育てしやすさ NO.1」プロジェクトを推進していきます。

〈問合せ先〉

豊中市役所 都市経営部 経営戦略課

電話:06-6858-2773